

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

令和3年1月20日 VOL. 149-1

見守りロボット「パペロ」で高齢者の見守りを

令和2年10月から見守りロボット「パペロ」を一人暮らし高齢者に貸し出すサービスを開始しました。このサービスは一人暮らし高齢者の見守り、孤独感や災害時の不安解消を目的に実施しています。家族との写真やメッセージのやりとり、ロボットとの会話でコミュニケーションによる見守りを行っています。また、警備会社と連携し緊急駆けつけを行うサービスも提供しています。

見守りロボット「パペロ」の主な機能

○ロボットとのコミュニケーション

- ・ロボットに話しかけると天気やニュースを教えてくださいます。
- ・食事や服薬を促すことなどを設定により定時に話しかけてくれます。

○家族とのコミュニケーション

- ・家族からのメッセージや写真、動画を付属のディスプレイに映し読み上げます。
- ・ロボットで撮影した写真や録音したメッセージを家族に送信します。

○安否確認

- ・ロボットが1日3回（朝昼晩）写真を撮影し家族に送信されます。

○防災無線の読み上げ

- ・防災無線の内容をディスプレイに映し読み上げます。

○緊急連絡

- ・緊急ボタンが押された場合と安否確認が一定期間できないと、家族と警備会社に通報が届き、必要な場合は警備会社が駆けつけます。

見守りロボット「パペロ」を利用するために

◎申込方法

- 市地域包括ケア推進課に連絡
↓
市地域包括ケア推進課から申請書送付
↓
申請書記入後、民生委員へ提出
↓
民生委員記入後、市へ提出



◎利用料

- | | | |
|---------------------------|----|--------|
| ・ロボットを設置する自宅にWi-fi環境がある場合 | 月額 | 700円 |
| ・ロボットを設置する自宅にWi-fi環境がない場合 | 月額 | 1,580円 |



☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

令和3年1月20日 VOL.149-2

見守りロボット「パペロ」利用者の声を紹介！

利用するきっかけ

- ・県外に住む家族が物忘れのある親とのコミュニケーションに使いたい。
- ・夫が入院したため息子に勧められた。
- ・夫を亡くし独居となりケアマネジャーから勧められた。

よく使っている機能

- ロボットとのコミュニケーション
 - ・朝や帰宅時に「おはよう」、「ただいま」の挨拶をしている。
 - ・定時に「薬の時間だよ」と服薬を呼びかけるよう設定している。
- 家族とのコミュニケーション
 - ・家族から孫の写真を送っている。
- 運動機能
 - ・3種類（頭・体・口）の体操の映像を見て体操をしている。



パペロを利用して変わったこと

- ・要介護の夫と二人暮らし。パペロとの会話で家の中が明るくなった。
- ・1日3回の写真撮影やロボットの声掛けで時間を意識して生活するようになった。
- ・挨拶や体操が日課となり、規則正しい生活になった。
- ・電話以外にも写真やメッセージのやりとりでお互いに安心できる。

こんな事例も

1日3回の写真を欠かさず撮影していた母親の写真が送られてこなかったのが心配した家族が自宅を訪問。そこで母親が倒れているところを見つけた。母親は足を骨折しており動けない状態であった。パペロを利用していたことで母親の異変に気づくことができた。

コロナ禍での活用！

- ・コロナ禍で家族の行き来がしにくい状況で遠方からの見守りができます。
- ・外出の機会が制限される中、パペロの運動機能を使って介護予防に取り組みます。

ヨーロッパのニュースチャンネルで紹介されました！

ヨーロッパのニュースチャンネルである「ユーロニュース」がパペロの事業を取り上げ紹介しました。世界160の国と地域で放送されました。日本ではYouTubeで「euronews fujieda」と検索すると視聴できます。

